

## 7月26日：運営委員会

5月に1名（中2）、7月に2名（中3、小6）、夏休みのみ（高1）と仲間がふえてきました。

母語で友達をサポートする子、慢心する兄弟を心配する子、学年の違う子の学習内容に興味を持つ子、年少の仲間に問題を作ってやる子、学校での出来事を話してくれる子。いろいろな姿から子どもたち自身が支えあい、支援者や仲間との交流から自分の気持ちを整理していく様子が見て取れます。プロチーニョ教室は子どもたちの居場所にもなっています。

来年度以降の事業展開を視野にいれ、今、すべきこと、できることがなにか、を考えつつ運営委員会で討論がおこなわれました。

## 7月下旬～8月：夏休み教室

外国につながる子どもたちは、夏休みに学校や日本語環境から遠ざかってしまうため、日本語の力が落ちたり、生活リズムや生活規律が乱れてしまいがちになります。そのため、2学期がはじまると夏休みの生活とのギャップが大きく、学校生活にスムーズに馴染みにくくなることがあります。それを防ぐため、できるだけ生活リズムをくずさないような教室日程にあります。

週3日（月・水・金） 中学生 9:00～11:00  
小学生 11:00～12:00



## 作文講座

子どもたちからの要望で、読書感想文の書き方について勉強しました。

## 8月9日：お楽しみ会

2人1組のチームを組んで、算数ゲームとオセロを楽しみました。オセロ一級をもつ支援者との対戦は、「自分のコマをどれだけ残せるか」最後まであきらめずにチャレンジしました。